

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
大竹地域	大竹市	平成 30 年度～令和 4 年度	平成 30 年度～令和 4 年度

1 目標の達成状況
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績/目 標※3
総人口	27,326	25,811	26,014	—
公共下水道	汚水衛生処理人口 94.7%	24,497 94.9%	24,872 95.6%	450%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 2.2%	589 2.3%	523 2.0%	-200%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 1.9%	453 1.8%	406 1.6%	300%
未処理人口	汚水衛生未処理人口 1.2%	334 1.0%	213 0.8%	200%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
処理施設 の整備に 関するも の		浄化槽設置整備事業	大竹市	公共下水道及び集落排水処理施設の計画区域外における住環境の整備、及び生活排水の処理による河川等の水質保全を目的とし、個人が設置する合併処理浄化槽の工事費に対して補助金を交付する。	平成30年度～ 令和4年度	平成30年度：2基 令和元年度：1基 令和2年度：2基 令和3年度：2基 令和4年度：0基

3 目標の達成状況に関する評価

本市は公共下水道等の整備が進んでいるため、公共下水道人口及び集落排水施設人口が全体の約98%を占めており、公共下水道等の整備がない区域の人口は残りの約2%となっている。

集落排水施設等の区域については、区域内の高齢化による人口減少により人口普及率は減少している。

公共下水道等の整備がない区域については人口の異動が少ない上、高齢化による人口減少に加え公共下水道への接続が続いたことや、合併処理浄化槽の新規整備による増加分よりも廃止等による減少分が多かったため人口普及率は減少しており、汚水の未処理人口についても334人から213人に減少した。

以上から、平成29年度と令和4年度を比較すると、公共下水道人口普及率、合併浄化槽等人口普及率、未処理人口について目標値を上回っており、集落排水施設等人口普及率に関しては目標を下回っている。理由は人口減少によるもので、同様の理由で公共下水道等の整備がない区域の人口及び普及率も減少している。そのため結果的に公共下水道の人口普及率が増加し、集落排水施設等を含む公共下水道等の整備率は向上していることから目標は達成していると判断した。

(都道府県知事の所見)

集落排水施設等については目標を達成することができなかったが、他の指標については目標を達成している。

汚水処理人口普及率については、高い水準であり、評価できる。